



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

平成26年10月31日

11月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 田中 綾子

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

実り多き小中連携

副校長 佐久間 宣朝

10月29日の朝7時10分。図書室前の藤棚の下に大きなかばんを持った中学生たちが集まっていました。「おはようございます。」と声を掛けると「おはようございます。」と、少し低い声の元気なあいさつでした。その15分後。本校6年生が正門に現れました。それは市球技大会を目指す特別サッカークラブの6年生たちです。先に来ていたのは釜利谷中学校サッカー部の皆さんでした。中学生が小学校に登校です。釜利谷南小のサッカークラブに指導兼応援に来てくれたのです。

中学生が来てくれたときの6年生はぐっと成長します。声がよく出るようになり、集合するときのスピードが格段に良くなります。これらは中学生の指導のおかげであり、まさに小中連携の効果です。先輩たちの大きな声、きびきびとした姿勢、高い技術など6年生にとっても良い刺激となり、学ぶことがたくさんあります。

初日の練習ではボールに慣れることをボールの操作が楽しくなるように、マン・ツウ・マンで軽いトスを上げてそれを投げた人にソフトタッチで蹴り返す練習です。足の甲やももを使ってボールを自由に扱えるようにする基本練習です。思うように蹴り返すことのできない6年生に「この辺に当ててみて。」と中学生がアドバイス。真剣な面持ちで自分なりの工夫でだんだんと返せるようになっていく6年生。さりげなく中学生が「うまいね。」と褒める。6年生の表情が緩む。本当に微笑ましい光景です。こうして心と心の交流が生まれ、6年生にとって実り多い朝練となることと信じています。



このほかにも先日6年生は釜利谷中学へ行かせていただきました。授業参観と部活動見学です。釜中の合唱コンクールの直前ということもあり、中学生の素晴らしい歌声を聴くことができました。学校の雰囲気、先輩たちの様子などをいろいろと参観できました。

また、小中連携は児童・生徒だけではなくありません。中学校の理科の先生が初任者研修のために釜利谷南小学校に1日来ました。6年生の教室へ行き、実際に授業をしました。また、休み時間には得意なバレーボールを一緒にして「中学に行ったら、バレー部に入りたい。」という感想をもった6年生もいました。



こうしたかわりの中から6年生が中学を身近に感じ、中学進学への意識を高め、中学進学へのイントロダクションとなっていくことと思います。また、こうした意識は残り少なくなった小学校生活も価値あるものにしてくれるものと思います。幸いにも釜利谷中学校は本校のはず向かいで地理的にも恵まれています。今後も釜利谷中学校とより良い連携の機会が増えていくようにしていきたいと思っています。